

用語	用語の略・解説
3D都市モデル	3D都市モデルとは、建築物、道路、土木構造物等の現実の都市に存在する様々なオブジェクトの三次元形状と建築物の名称や用途などの多様な情報をパッケージとして記述した地理空間データのこと。国土交通省都市局により標準データモデルが定められている。
5G	第5世代移動通信システム。「超高速」だけでなく、「超低遅延」「多数同時接続」といった特長を持つ移動通信システムのこと。
AI	Artificial Intelligenceの略。「人工知能」と訳される。人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。
AR	Augmented Realityの略。AR（拡張現実）は、スマートフォンやタブレット型端末を利用して、カメラ等から入力された実際の映像の手前にコンピューター画像を表示する技術
CIO	Chief Information Officerの略。日本語では「最高情報責任者」「情報システム担当役員」「情報戦略統括役員」などと訳される。企業や行政機関等といった組織において情報化戦略を立案、実行する責任者のこと。
EMS	Environmental Management Systemの略。組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境管理」又は「環境マネジメント」といい、このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組みをEMS（環境マネジメントシステム）という。
EV	Electric Vehicleの略。電気モーターを動力源として走行する電気自動車のこと。
GPS	Global Positioning Systemの略。全世界的な位置測定システムであり、4つ以上のGPS衛星から携帯電話端末が受信する信号の到達時間により、端末ないし位置情報測位サーバ上で、衛星と携帯電話端末の間の距離を算出の上、その位置を計算する。

用語	用語の略・解説
GX	Green Transformationの略。GX（グリーントランスフォーメーション）とは、温室効果ガスを発生させないグリーンエネルギーに転換することで、産業構造や社会経済を変革し、成長につなげること。
ICT	Information & Communications Technologyの略。情報や通信に関連する科学技術の総称。特に、電気、電子、磁気、電磁波などの物理現象や法則を応用した機械や器具を用いて情報を保存、加工、伝送する技術のこと。
MR	Mixed Realityの略。MR（複合現実）は、メガネ（グラス）等を通して見る視界全体のARのイメージ。
NFT	Non-Fungible Token（非代替性トークン）の略。「偽造・改ざん不能のデジタルデータ」であり、ブロックチェーン上でデジタルデータに唯一の性質を付与して真偽性を担保する機能や取引履歴を追跡できる機能をもつもの。
OODAループ	「OODA」とは、「Observe（観察，情報収集）」、「Orient（状況，方向性判断）」、「Decide（意思決定）」、「Act（行動，実行）」の頭文字をつないだ言葉で、意思決定プロセスを理論化したもの。スピーディな意思決定を可能とする。
PDCAサイクル	Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）という一連の過程を繰り返し、業務を継続的に改善する手法。
PHR	Personal Health Recordの略。個人の健康診断結果や服薬履歴等の健康等情報を、電子記録として、本人や家族が正確に把握するための仕組み。

用語	用語の略・解説
SDG s	Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された，2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
SNS	Social Networking Service(Site)の略。個人間の交流を支援するサービス（サイト）で，参加者は共通の興味，知人等をもとに様々な交流を図ることができる。例えば，友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり，趣味や嗜好，居住地域，出身校，「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築したりする場を提供する。
VR	Virtual Reality の略。VR（仮想現実）は，視界全面を覆うヘッドマウントディスプレイで仮想世界を体験する技術。
Web3.0	次世代インターネットとして注目される概念。巨大なプラットフォームの支配を脱し，分散化されて個と個が繋がった世界。電子メールとウェブサイトを中心とした Web1.0 ，スマートフォンとSNSに特徴付けられる Web2.0 に続くもの。
アジャイル手法	「俊敏な」「すばやい」という意味の英単語で，要求仕様の変更などに対して，機敏かつ柔軟に対応するためのソフトウェア開発手法。アジャイルでは，仕様や設計の変更があることを前提に開発を進めていき，徐々にすり合わせや検証を重ねていくというアプローチをとる。
インターネット	世界中のコンピュータなどの情報機器を接続するネットワークのこと。1990年ごろから，世界的に広く使われ始め，近年はその利活用が目覚しく進展してきた。現在では，私たちの生活や仕事などのさまざまな場面で使われる，不可欠な社会基盤（インフラ）となっている。

用語	用語の略・解説
オープンデータ	<p>国，地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち，国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工，編集，再配布等）できるよう，次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.営利目的，非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの</li> <li>2.機械判読に適したもの</li> <li>3.無償で利用できるもの</li> </ol>
オプトイン	<p>一般的には，ユーザーが情報を受け取る際や自らに関する情報を利用される際などに，許諾（パーミッション）の意思を示す行為のこと。スマートシティにおいては，取得・活用するデータの種類，利用目的，利用先等を明示し，利用者の同意を得た上で，データを取得・活用することをいう。</p>
カーボンニュートラル	<p>温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。2020年10月，政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする，カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。</p>
クラウドサービス	<p>クラウドコンピューティングの形態で提供されるサービスのこと。従来は，利用者側がコンピュータのハードウェア，ソフトウェア，データなどを，自身で保有・管理し利用していたが，クラウドサービスでは，利用者側が最低限の環境（パーソナルコンピュータや携帯情報端末などのクライアント，その上で動く Web ブラウザ，インターネット接続環境など）を用意することで，さまざまなサービスを利用できるようになる。クラウドサービスは，主にSaas（Software as a Service），PaaS（Platform as a Service），IaaS（Infrastructure as a Service）の3つの形態で提供されている。</p>
コミュニケーションロボット	<p>会話や動作を使って人とやり取りするロボットのこと。定義ははっきりと決まっておらず，サービス用ロボットとも呼ばれている。このコミュニケーションロボットは，大きく分類すると，個人向けと業務用の2種類に分けられる。</p>

用語	用語の略・解説
サービスデザイン	デザイン思考という概念を用いてサービスをデザインしていこうというもの。デザイン思考とは、サービスやビジネスを構築する際に、デザイナーがデザインを行う際の進め方や考え方を適用していこうという考え方であり、その進め方や考え方は人間中心設計に基づいており、サービスデザインにおける「人間」とは「サービスの利用者」のことであり、利用者がどのように振る舞い、どのように考えているかを理解した上で利用者体験全体をデザインすることになる。
シェアリングエコノミー	「個人等が保有する活用可能な資産等を、インターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動のこと。カーシェアリングサービス等。
デジタイゼーション	既存の紙のプロセスを自動化するなど、物質的な情報をデジタル形式に変換すること。
デジタライゼーション	組織のビジネスモデル全体を一新し、クライアントやパートナーに対してサービスを提供するより良い方法を構築すること。
デジタルアーカイブ	デジタル技術を用いて作成されたアーカイブ。公的な博物館、図書館、文書館の収蔵資料だけでなく、自治体・企業等の文書・設計図・映像資料などを含め有形無形の文化・産業資源など多岐に渡る。デジタル方式で記録し、データベース技術を用いて保存、蓄積し、ネットワーク技術を用いて検索を可能にして、継続的に活用すること。
デジタルデバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる情報格差のこと。
デジタル・トランスフォーメーション (DX)	デジタル技術の活用により、効率化だけではなく、これまでのサービスや仕事の仕方を変革し、新たな価値を創出、さらには、業務などの部分的な変化ではなく、社会の仕組みや組織文化までも変革すること。

用語	用語の略・解説
デジタルマーケティング	インターネットやIT技術など「デジタル」を活用したマーケティング手法のこと。
デジタルリテラシー	インターネット等の情報通信技術，パソコンやスマートフォンなどのデジタル端末やアプリ等について理解し，それらを活用する能力のこと。
データサイエンティスト	事業に必要なデータの分析・解析を行える人材のこと。データサイエンティストには，データを分析・解析するための統計解析スキルに加え，データ分析ソフトを扱うためのスキル，数学に関する知識，ITに関する幅広い知識が必要とされ，データベースやプログラミング，ビジネスへの理解も求められる。
都市OS	スマートシティ実現のために，共通的に活用する機能が集約され，様々な分野のサービスの導入を容易にさせることを実現するITシステムの総称。
ドローン	遠隔操作または自動操縦により飛行させることができる無人航空機のこと。
ビジネスアーキテクト	DXの取組みにおいて，ビジネスや業務の変革を通じて実現したいこと（＝目的）を設定したうえで，関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら，目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて，目的を実現する人材
メタバース	インターネット上の仮想空間にアバター（自分の分身であるデジタルキャラクター）で参加し，他者とコミュニケーションすること。SNSの未来形の一つともいえるサービスであり，仮想空間を提供するサービスを総称するキーワードとして使われ始めている。

用語	用語の略・解説
リカレント教育	社会人の学び直しのこと。義務教育期間や大学で学んだ後に「教育」と「就労」のサイクルを繰り返す「教育制度」のことを指す。
リスキリング	新しい職業に就くために、あるいは今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること。
シビックテック	市民（civic）と技術（technology）から生まれた造語。市民が主体的にテクノロジーを活用して、社会課題を解決したり、生活の利便性を向上させるため活動のこと。